

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	健康福祉部	
	17086	かめやまげんきっこ育成事業		課名	子ども未来課 子育てサポートG	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進			款	03:民生費
	施策の方向	01:健やかに産み育てられるための支援の充実			項	02:児童福祉費
戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト		目		01:児童福祉総務費	
事業予定期間	H 27 ~ R	年度	主な根拠法令要綱等	児童福祉法		

② 目的・概要	対象	就学前児童、中学生、高校生
	目的	運動能力の成長におけるゴールデンエイジである乳幼児期の運動活動を促し、健康的な心身の発達や運動能力の向上を図るとともに、読書による豊かな心をはぐくみ、子どもたちが将来に渡って健康的な生活を営む力を養うことを目的とする。
概要	かめやまげんきっこフェスティバルを開催し、地域子育て支援センターの交流を図るとともに、各支援センターでの子育て講座を展開し、子どもたちの発達を促す。また、豊かな心を育むため、ブックスタートを実施し、絵本のよみきかせ講座等を開催する。さらには、かめやまげんきっこを育成するための人材を養成するため、リーダー養成講座を開催するとともに、市内の中高生を対象としたライフプラン教育を行う。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養よみきかせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中高生) 	<ul style="list-style-type: none"> ○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養よみきかせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中高生) 	<ul style="list-style-type: none"> ○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養よみきかせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育の実施(中高生) 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・かめやまげんきっこフェスティバルの開催(来場者303人:保護者136人、子ども167人) ・子育て講座の開催(メイン講座2回、拠点講座48回、延べ参加人数:1,564人) ・リーダー養成講座の開催 ・ブックスタート事業の実施 ・思春期ライフプラン講座の実施(3中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・かめやまげんきっこフェスティバルの開催(来場者281人:保護者128人:子ども153人) ・子育て講座の開催(メイン講座3回、拠点講座50回、延べ参加人数:1,652人) ・ブックスタートの実施 ・リーダー養成講座の開催 ・思春期ライフプラン講座の実施(3中学校) 		
事業費	計画額	事業費	1,600千円	1,600千円	1,600千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	1,600千円	1,500千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	1,263千円	1,184千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	総人件費 ②	6,143千円	6,226千円		
	一般職員	6,143千円	6,226千円		
	所要人員	0.80	0.80		
	臨時職員等	0千円	0千円		
	総コスト(①+②)	7,406千円	7,410千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%			

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称 地域子育て支援センター利用者数	計画値	35,600	36,000	36,400
		市内5か所の年間利用者数	実績値	35,229	33,638	
			単位	人	人	人
	②	名称 講座開催数	計画値	40	40	40
		各種講座開催数の合計	実績値	50	50	
			単位	回	回	回
	③	名称 講座参加者数	計画値	1,000	1,000	1,000
		各種講座参加者数の合計	実績値	1,564	1,652	
			単位	人	人	人

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 ベビーのつどいを定期的に開催し、新規利用者を増やしていく。また、広報やホームページを活用し、たくさんの人に向けた周知を行うとともに、今までになかった絵本交換会等、参加者同士の交流が進むような新しい企画も考えていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 支援センター事業でのイベントを利用者や新規の方にも周知できるような案内をするとともに魅力のある内容にした。イベント内容の中には「パパと遊ぼう」講座を開催することで、父親にも子育ての楽しさや我が子の成長を喜ぶ機会を持つようにした。ブックスタートを継続して絵本の読み聞かせを定期的に行うことで、親が子に絵本の読み聞かせを行えるようにし、乳幼児から絵本に親しめる機会をつくった。またその中で、親同士の子育ての悩みや相談ができる場にも繋がった。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 年間計画にあるイベントや講座を計画的に実施できた。また、利用者の声を真摯に受け入れ、情報交換ができる場を設けることにより支援センターや子育てに対する関心が高まりつつある。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 市内5か所の支援センターにおいて交流による情報交換や子育てに関する悩みや相談を共有できる環境づくりができています。また、講座やイベント内容を考え、その実施内容を毎月「あいあいっこ・あすれっこだより」を発行し、その他のイベント等は広報やホームページで情報発信することで、施設利用の促進にもつながっている。子育て支援センターの利用者は減少となっているが、支援員への相談内容やイベント時のアンケートなどから、子育てへの関心が向上している。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 子育てや育児に対しての興味や関心を高め、子育て世代による情報交換の場を充実させる必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 子育てや育児に対しての興味や関心をさらに高めるために、利用者のニーズを聞き、その内容を講座やイベントに取り入れていく。子育ての対象年齢等を限定した講座を開催することによって、育児の悩みを共有できる親同士の交流の場の提供に努める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 利用者の増加、子育てに関する興味や関心が高まる。また、講座やイベントを定期的に行うことで普段支援センターを利用しない方にも、施設の内容や取り組みの理解が高まる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	健康福祉部 子ども未来課 子育てサポートグループリーダー 高重 京子
【最終評価者】	健康福祉部 子ども未来課長 豊田 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B			
	成果	A	B			